



2026年4月 第783号

教会だより

カトリック甲府教会 月報

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10

Tel / Fax 055-237-2531 <http://catholic-kofu.com>

編集・発行 カトリック甲府教会 広報委員会

教皇レオ十四世、2026年3月22日、「お告げの祈り」でのことば

2026年3月22日（日）四旬節第5主日の正午に教皇公邸書斎の窓から「お告げの祈り」を唱える前に述べたことば（原文イタリア語）。

「お告げの祈り」の後、教皇はイタリア語で次のように述べた。

親愛なる兄弟姉妹の皆様。

世界の他の地域と同様に、戦争と暴力によって引き裂かれた中東の状況を恐怖をもって見守り続けています。この紛争の犠牲となっている非武装の多くの人々の苦しみを目の当たりにして、沈黙し続けることはできません。彼らを傷つけるものは、全人類を傷つけます。この戦争によって引き起こされた死と痛みは、人類家族全体にとってつまずきであり、神に対する叫び声です。敵対行為が終わり、真実な対話とすべての人格の尊厳に対する尊重に基づく平和への歩みが最終的に開かれるために、忍耐強く祈り続けてくださるようあらためて強く呼びかけます。



Leo PP. XIV

今日ローマでは世界中から多くの選手が参加する大きなマラソン大会が開催されています。これは希望のしるしです。スポーツが平和と社会的包摂と精神性の道を歩むことができますように。

親愛なる兄弟姉妹の皆様。こんにちは。

今日の四旬節第五主日の典礼では、ラザロの復活に関する福音が朗読されます（ヨハ 11・1-45 参照）。

四旬節の旅路の中で、ラザロの復活は、死に対するキリストの勝利と、わたしたちが洗礼によって与えられる永遠のいのちのたまものに関して語るしるしです（『カトリック教会のカテキズム』1265 参照）。イエスは今日、ラザロの姉妹であるマルタに対していわれたのと同じように、わたしたちにもこういわれます。「わたしは復活であり、いのちである。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬ

ことはない」(ヨハ 11・25-26)。

こうして典礼は間近に迫った聖週間の中で、主の過越の出来事——エルサレム入城、最後の晩餐、裁判、十字架、埋葬——をこの光に照らして追体験するようにわたしたちを招きます。それは、わたしたちがそれらの真の意味を理解し、そこに含まれた恵みのたまものにわたしたちの心を開くことができるようになるためです。

実際、これらの出来事は、死に打ち勝ち、洗礼の恵みを通してわたしたちのうちで生きておられる、復活したキリストにおいて、わたしたちの救いと完全ないのちのために実現します。

復活したキリストの恵みは、この世を照らします。この世は、重要なもの——時間、エネルギー、価値、愛情——を犠牲にしてまでも、新奇なものを求め続けるように思われるからです。あたかも名声と物質的な財産と娯楽とつかの間の人間関係が心を満たし、わたしたちを不滅のものとしてくれるかのよう。これは、わたしたち一人ひとりが自分のうちにもっている、無限へのあこがれのしるしです。しかし、このあこがれが過ぎ行くものによって満たされることはありえません。いかなる有限なものもわたしたちの内的な渇きをいやすことはできません。なぜなら、わたしたちは神に向けて造られ、神のうちに憩うまで安らぎを得ることができないからです(アウグスティヌス『告白』[Confessiones] 1, 1 [山田晶訳、『世界の名著 14 アウグスティヌス』中央公論社、1968年、59頁]) 参照)。

それゆえ、ラザロの復活の物語は、わたしたちを招きます。この深いあこがれに耳を傾け、聖霊の力によって、わたしたちを利己主義と物質主義と暴力と表面的なものの墓に岩のように閉じ込める習慣と条件づけと考え方から自分の心を解放するよう。これらの場所にはいのちはなく、困惑と不満と孤独があるだけです。

イエスはわたしたちに向けてもこう叫びます。「出て来なさい」(ヨハ 11・43)。そして、恵みによって生まれ変わったわたしたちが、不安の空間から抜け出すようにと促します。それはわたしたちが、希望し、計算も尺度もないイエスの無限の愛の模範に従って愛することができる新しい人として、愛の光の中を歩めるようになるためです。

おとめマリアが、マリアの信仰と信頼と忠実さをもって、この聖なる日々を生きることができるようにお助けくださいますように。そうすれば、マリアの復活した御子との出会いの輝かしい経験が、わたしたちにとっても日々新たにされます。

(カトリック中央協議会Hpより)

四旬節の「愛の献金」

四旬節は、復活祭46日前の水曜日(灰の水曜日)(2月18日)から聖木曜日(4月3日)のミサ前までの期間です。聖堂入口の「四旬節 愛の献金」(緑の封筒)に献金を入れ、月定献金の箱に主日のミサのある日にお入れ下さいますようお願い致します。

「四旬節 愛の献金」は、日本カトリック司教協議会がキリスト信者にとって教会の要請に応じる義務として制定した8つの「献金」の1つです。



おしらせ



1 聖週間のミサの日程

3月29日(日)	えだ しゅじつ 枝の主日	10:30	せいどう 聖堂・サントルチア講堂
4月2日(木)	せいもくようび 聖木曜日	19:00	せいどう 聖堂
4月3日(金)	せいきんようび 聖金曜日	19:00	せいどう 聖堂
4月4日(土)	ふっかつてつやさい 復活徹夜祭	19:00	せいどう 聖堂・サントルチア講堂
4月5日(日)	ふっかつ しゅじつ 復活の主日	10:30	せいどう 聖堂・サントルチア講堂

※ 2日聖木曜日～4日復活徹夜祭は、西側駐車場を利用できます。
空いているところをご利用ください。

2 交わりの会 ミーティング

4月12日(日) 11:45 ～ 外国語信徒とのミーティングを行います。外国語グループリーダーと関係者は、ご出席をお願いいたします。

3 復活の主日後のパーティーを行います！

皆で主の復活を祝いましょう！ 4月5日(日) 11:50 ～ 1:30 位
※詳しくは折り込みチラシにて

各委員会の日程

きずなの会	お休み		
典礼委員会	4月18日(土)	9:30	～ センターホール
聖歌隊	4月19日(日)	9:00	～ 聖堂
地域福祉委員会	4月19日(日)	11:40	～ サントルチア講堂
広報委員会	4月26日(日)	9:45	～ センター事務所
女性会	5月3日(日)	11:40	～ ドミニコの部屋 ※女性会4月はお休み

けんしん ひせきもちょう こ あんない
堅信の秘跡申し込みのご案内

こうふ えんざんきょうかい しゆにんしきい せりざわひろひと
カトリック甲府・塩山教会 主任司祭 芹沢博仁

ねん がつ にち にち こうふきょうかい けんしんしき おこな けんしん
2026年10月4日（日）に甲府教会において堅信式が行われます。つきましては、堅信の
ひせき きぼう かき あんない
秘跡を希望するみなさまに下記のように、ご案内いたします。

き
＝ 記 ＝

たいしやうしや
一、 対象者

ねん がつ にち げん とう こうふ えんざんきょうかい しんと きほんてき たいしやう
2013年3月31日以前にお生まれで、甲府・塩山教会の信徒が基本的な対象となり
ます。

こうふ えんざんきょうかい いがい きょうかい かた しよぞく きょうかい とあ もう
甲府・塩山教会以外の教会の方は、それぞれ所属されている教会を通してお申し込み
ください。

もうしこみしめきりび
一、 申し込み締め切り日

がつ にち にち がつ にち もく あいだ たんとうしや もう こ
4月5日（日）から4月30日（木）までの間に、担当者にお申し込みください。

けんしんしき む じゆんび
一、 堅信式に向けての準備クラスについて

じゆんび がつ ちゆうこうせい せいじん がつ か はじ
準備クラスは5月（中高生クラスは、5月17日、成人クラスは、5月24日）から始
まります。

しょかい かなら しゆつせき
初回のクラスには、必ず出席してください。

- ちゆうこうせい かい かいさい よてい げんそく まいつきだい だい にちやうび こ
● 中高生クラス：10回ほど開催の予定です。原則、毎月第3、第4日曜日ミサ後～13
じ なつやす べつとせつてい せいらい しょうちゆうがくせい
時（夏休みは別途設定いたします）。テキストとして、『聖霊とともに』（小中学生
のためのけんしんじゆんび ばん しょう かくじこうにゆう
のための堅信準備ワークブック／「CTIC」版）を使用します。各自購入していただ
くこととなりますが、テキストは教会でまとめて取り寄せます。※代親になる方は、
してい さんか
指定したプログラムに参加してください。
- せいじん だい にちやうび じ じ にゆうもんこうざ しゆつせき
● 成人クラス：第4日曜日（13時～15時）のカトリック入門講座に出席していただ
きます。

もう こ と あ か またんとうしや たず
お申し込み、お問い合わせは下記担当者にお尋ねください。

- たんとうしや せいじん あいかわきょうかい いんちやう ちゆうこうせい みしやう
【担当者】 ● 成人クラス： 相河教会委員長 ● 中高生クラス： 御荘リーダー、
いけだ がいこくこ かた かく
池田リーダー ● 外国語グループの方は、各グループのリーダー

信徒大会での意見に対する対応

2026年信徒大会で以下の5つの意見が出されました。3月8日(日)に行われた3月教会委員会で話し合い、次のように決定しました。

- ① 教会委員会の議事録を教会だよりに掲載して欲しい。
 - 議事録が欲しい方は三役に申告し、その方の分を含めた一定数をセンター掲示板上に置いておく。
 - ※ 教会だよりに載せると紙面の枚数が多くなってしまうため、必要な方に届くようにする。
- ② ミサへの参加機会を増やすために、平日のミサの機会を増やして欲しい
 - 信徒大会の中で説明し、質問者も納得したので対応済み
 - ※ 日曜日と平日のミサは意味が違う。
 - ※ ミサを担当するグループが現状ないので不可能である。
- ③ 教会施設に関する重要な計画決定に際し施設管理委員会を機能させてほしい。
 - そのようにする。
 - ※ 施設管理委員会より上記回答があった。
- ④ 施設管理委員会に青少年育成委員会のための資料を保管するスペースを確保してほしい。
 - 早速、施設管理委員会と青少年育成委員会を中心に取り組みを始める。
 - ※ 施設管理委員会より具体的な提案を提示された。
 - ・ 「ドミニコの部屋」の管理物品への担当グループの表示(3/15を目途に)：各グループ等対応
 - ・ 管理元不明物品を整理(他の場所への保管・廃棄処分)
 - ・ 担当グループ等が明らかな物品については、青少年育成委員会を含む担当グループの責任者と協議して保存場所を決める(3月末を目標に整理)
- ⑤ 行事・活動報告の中にある「職員の採用」とはどういうことか？
 - 信徒大会の中で説明し、質問者も納得したので対応済み
 - ※ 中山さんの採用のこと。内容は山梨県の最低賃金にあわせてベースアップをすること。





今月の教会カレンダー（典礼暦・外国語ミサ・行事等）



4月 2日（木）	せいもくようび 聖木曜日 しゅ ばんさん (主の晩餐)	19:00	ミサ
4月 3日（金）	せいきんようび 聖金曜日 しゅ じゅなん (主の受難)	19:00	受難の祭儀
4月 4日（土）	せいどようび 聖土曜日 ふっかつてつやさい 復活徹夜祭	19:00	ミサ
4月 5日（日）	ふっかつ しゅじつ 復活の主日	10:30	ミサ
4月12日（日）	ふっかつせつだい しゅじつ 復活節第2主日 かみ (神のいつくしみの主日)	10:30	ミサ
		13:00	ベトナム語ミサ (tiếng Việt)
		15:00	ポルトガル語ミサ (Português)
4月19日（日）	ふっかつせつだい しゅじつ 復活節第3主日	10:30	ミサ
		12:30	韓国語ミサ (한국어)
4月26日（日）	ふっかつせつだい しゅじつ 復活節第4主日 せかいしやうめいきざん ひ (世界召命祈願の日)	10:30	ミサ
		14:00 ※予定	英語ミサ (English) ※予定
5月 1日（金）	はつきん 初金	9:30	ミサ
5月 3日（日）	ふっかつせつだい しゅじつ 復活節第5主日	10:30	ミサ

教皇レオ十四世、「聖フランシスコ年」を公布

教皇庁内赦院は1月16日、教皇レオ十四世が2026年1月10日から2027年1月10日まで、聖フランシスコ没後800年を記念する「聖フランシスコ年」とすることを発表し、同期間に全免償を与える教令を公布しました。

